

令和7年度 サポート学習（月・火） 年間カリキュラム

【ねらい】

- ① 学習姿勢の構築（離席せずに取り組む、正しい姿勢を身につける、集中力の向上、運筆力の向上）。
- ② 苦手な事に対して向き合う力を身につける。
- ③ 分からないことなどに対しての自己発信力を身につける→大人と一緒に解決していく。
- ④ 学習を通して自身の得意・不得意を認識して強みにしていく。

【支援方針】

- ① 各児童の能力に合わせた教材を準備する。
- ② 学習に関連したお楽しみ活動を提供し、苦手な事に対して取り組めるよう支援する。
- ③ コグニティブトレーニングを導入して学習に向かう姿勢をつくる。
- ④ 『できた』ということを目にみえて分かるように視覚的ツールを活用する。

月	活動内容	目的とねらい	身につけて欲しい力 (5領域)	予想される事・注意点 (前年度の課題と今年度の改善点)	
4月	●学習 (宿題、一步のプリント、コグトレ)	●年度初めの為、他児とコミュニケーションを取りお互いのことを知る。 ●活動のルーティンを身につける。 ★コグトレを活動始めに導入し、学習姿勢を整えていく。	【健康・生活】 ・身体の基盤を整える。 ・基本的な生活スキルの獲得。 【運動・感覚】 ・姿勢保持。 ・粗大運動と微細運動の促進と使い方を学ぶ。 ・保有する感覚の活用。 ・感覚特性への対応。 【認知・行動】 ・五感の感覚や認知の活用。 ・知覚から行動への認知過程の発達と向上。 ・概念の形成(数、大小、色など)。 ・場に適した行動ができるようになる。 【言語・コミュニケーション】 ・言語の形成と活用。 ・受容言語と表出言語の増加。 ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の向上。 ・コミュニケーションツールの開拓(指差し、身振り、PECS、サイン、音声、文字等)。 ・読み書き能力の向上。 【人間関係・社会性】 ・アタッチメント(愛着行動)の形成。 ・模倣行動の獲得。 ・感覚運動遊びから象徴遊びへの移行。 ・一人遊びから協同遊びへの移行。 ・自己理解とコントロールができるようになる。 ・集団への参加。	※各児童、どこに躓きがあるのか丁寧にアセスメントし、各児童に合った視覚支援を活用する。	
5月	●お楽しみ (自己紹介ゲーム)				
6月	●学習 (宿題、一步のプリント、コグトレ) ●お楽しみ (数の理解、ひらがな理解)	●ゲーム形式で数の理解を深める(神経衰弱)。 ●様々な形式で平仮名理解を深める(かるた、アナグラム、など)。 ●数の大小の比較ができるようになる。 ★コグトレを活動始めに導入し、学習姿勢を整えていく。		※苦手意識から学習への拒否が出る。 スモールステップで成功体験を積み、苦手意識の緩和に繋げる。	
7月	●学習 (宿題、一步のプリント、コグトレ)	●夏休みの宿題について、取り組み方(計画)の見通しをもつ。計画性や協調性を培う。 ●実験を通して日常生活の化学に触れ、探求心を培う。 ●カタカナへの理解を深める(かるた、アナグラム、など) ★コグトレを活動始めに導入し、学習姿勢を整えていく。		【健康・生活】 ・身体の基盤を整える。 ・基本的な生活スキルの獲得。 【運動・感覚】 ・姿勢保持。 ・粗大運動と微細運動の促進と使い方を学ぶ。 ・保有する感覚の活用。 ・感覚特性への対応。 【認知・行動】 ・五感の感覚や認知の活用。 ・知覚から行動への認知過程の発達と向上。 ・概念の形成(数、大小、色など)。 ・場に適した行動ができるようになる。	※夏休みの宿題の見通しが持てず、意欲が低下する。 ◎スケジュールを可視化し、見通しを持つようにする。
8月	●夏休み(実験) ●お楽しみ (カタカナ理解)				
9月	●学習 (宿題、一步のプリント、コグトレ) ●お金の学習 基礎理解と買い物ワーク (事業所内、お店)	●お金の種類や数え方について理解を深める。 ●店員さんとお金のやりとりを疑似体験する→余暇活動への予行練習。 ★コグトレを活動始めに導入し、学習姿勢を整えていく。		【健康・生活】 ・身体の基盤を整える。 ・基本的な生活スキルの獲得。 【運動・感覚】 ・姿勢保持。 ・粗大運動と微細運動の促進と使い方を学ぶ。 ・保有する感覚の活用。 ・感覚特性への対応。 【認知・行動】 ・五感の感覚や認知の活用。 ・知覚から行動への認知過程の発達と向上。 ・概念の形成(数、大小、色など)。 ・場に適した行動ができるようになる。 【言語・コミュニケーション】 ・言語の形成と活用。 ・受容言語と表出言語の増加。 ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の向上。 ・コミュニケーションツールの開拓(指差し、身振り、PECS、サイン、音声、文字等)。 ・読み書き能力の向上。 【人間関係・社会性】 ・アタッチメント(愛着行動)の形成。 ・模倣行動の獲得。 ・感覚運動遊びから象徴遊びへの移行。 ・一人遊びから協同遊びへの移行。 ・自己理解とコントロールができるようになる。 ・集団への参加。	※宿題の内容がわからず、苦手意識から学習意欲が低下する。 ◎各児童の得意な内容のプリントを用意し、学習へのハードルを低くする。
10月					
11月					
12月	●学習 (宿題、一步のプリント、コグトレ)	●集団遊びを通してコミュニケーション能力を培う。 ★コグトレを活動始めに導入し、学習姿勢を整えていく。		【健康・生活】 ・身体の基盤を整える。 ・基本的な生活スキルの獲得。 【運動・感覚】 ・姿勢保持。 ・粗大運動と微細運動の促進と使い方を学ぶ。 ・保有する感覚の活用。 ・感覚特性への対応。 【認知・行動】 ・五感の感覚や認知の活用。 ・知覚から行動への認知過程の発達と向上。 ・概念の形成(数、大小、色など)。 ・場に適した行動ができるようになる。 【言語・コミュニケーション】 ・言語の形成と活用。 ・受容言語と表出言語の増加。 ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の向上。 ・コミュニケーションツールの開拓(指差し、身振り、PECS、サイン、音声、文字等)。 ・読み書き能力の向上。 【人間関係・社会性】 ・アタッチメント(愛着行動)の形成。 ・模倣行動の獲得。 ・感覚運動遊びから象徴遊びへの移行。 ・一人遊びから協同遊びへの移行。 ・自己理解とコントロールができるようになる。 ・集団への参加。	※ルール理解の難しさが出てくる。 ◎各児童に合わせてグループを分け、お楽しみ活動を実施する。
1月	●お楽しみ (集団遊び)				
2月	●学習 (宿題、一步のプリント、コグトレ)	●時計の見方を習得する(時間について学ぶ)。 ●ゲーム形式で時間について学ぶ。 ●年間のまとめとして、子どもたちの苦手とするものに再度取り組み、苦手意識の軽減と克服をはかる。 ★コグトレを活動始めに導入し、学習姿勢を整えていく。		【健康・生活】 ・身体の基盤を整える。 ・基本的な生活スキルの獲得。 【運動・感覚】 ・姿勢保持。 ・粗大運動と微細運動の促進と使い方を学ぶ。 ・保有する感覚の活用。 ・感覚特性への対応。 【認知・行動】 ・五感の感覚や認知の活用。 ・知覚から行動への認知過程の発達と向上。 ・概念の形成(数、大小、色など)。 ・場に適した行動ができるようになる。 【言語・コミュニケーション】 ・言語の形成と活用。 ・受容言語と表出言語の増加。 ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の向上。 ・コミュニケーションツールの開拓(指差し、身振り、PECS、サイン、音声、文字等)。 ・読み書き能力の向上。 【人間関係・社会性】 ・アタッチメント(愛着行動)の形成。 ・模倣行動の獲得。 ・感覚運動遊びから象徴遊びへの移行。 ・一人遊びから協同遊びへの移行。 ・自己理解とコントロールができるようになる。 ・集団への参加。	※学習内容が難しくなり、苦手意識が大きくなる ◎躓いている部分を分析し、学習の理解を図る
3月	●時計学習 ●苦手なところ等、学んだことを復習する。				